

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【1. 施策名】

施策コード	621-01	基本施策	交通体系の整備	所管部局	企画政策部
施策名	公共交通機関の整備			主担当課	交通政策課
施策の目標	地域の特性や市民ニーズに合った公共交通システムの構築を図り、環境負荷の少ない、快適で日常生活を支える移動手段の確保を目指します。				

【2. 施策に取り組む理由】

<p>施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など</p> <p>公共交通は、あらゆる人々が社会的・個人的に活動を展開するための“インフラ”として、その確保・充実が求められているが、近年は利用が低迷し、路線の廃止・縮小が進んでいる。また、少子・高齢化の進行による高齢者世帯の増加が、交通弱者の増加につながっている。</p> <p>一方、公共交通は1人当たりのCO2の排出量が少ないため、公共交通の利用促進は、地球温暖化防止対策の面で効果的であるとともに、渋滞緩和と交通事故抑制にも寄与する。</p> <p>この様な中、民間事業者の経営努力だけでは公共交通の維持・存続を図っていくことが困難となっており、市を始めとする関係機関が連携して公共交通機関の整備と利用促進を図る。</p>

【3. 施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実績					目標値 (H28)
			H24	H25	H26	H27	H28	
市内路線バスの年間利用者数	万人	717	715	740	/	/	/	739
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
長電バス(株)・アルピコ交通(株)長野支社の、市内を運行する路線バスの利用者 市バスの利用者	平成22年度の実績値717万人の3%増（717×1.03=738.5→739万人） ※市が関与するバス等 コミュニティバス、乗合タクシー、中山間地域輸送システム 実績 平成24年度 30万人 平成25年度29万人							
施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実績					目標値 (H28)
市内鉄道駅の年間利用者数	万人	3,895	3,876	3,916	/	/	/	4,012
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
J R、長野電鉄の市内駅の利用者	平成22年度の実績値3,895万人の3%増 (3,895×1.03=4,011.85→4,012万人)							
25年度の取組内容実績	<ul style="list-style-type: none"> バス増便・終発繰り下げ実証運行（4路線） 生活交通の確保（市バス、廃止代替バス、コミュニティバス、乗合タクシー、中山間地輸送システム） 長野市公共交通ビジョンの策定 鉄道事業者が実施する安全輸送設備の整備に対する支援 							

【4. 総合評価】

総合評価（目標値に向けて）	順調
評価の理由・説明等	
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	路線バスの増便や終発繰り下げの実証運行の実施、また、交通空白地域や路線バスの撤退による交通手段の確保を図っている。 鉄道事業者が実施する輸送の安全性向上のための設備整備等に対して支援を行っている。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	目標値は達成している。バスの利用者数の増加は、バス共通ICカード「くるる」の導入や消費税増税前の定期券購入の駆け込み需要、また鉄道については、景気回復による行楽客の増加やバスと同様に消費税増税前の駆け込み需要の影響が考えられるため、継続的な利用促進が必要である。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	事務事業は、概ね目標を達成している。

【5. 今後の展開】

課 題		課題解決に向けた具体的な取組
1	少子高齢化や人口減少が進む中、持続可能な公共交通体系の整備を進める必要がある、	「長野市公共交通ビジョン」策定（H26年度策定）の中で、公共交通体系（公共交通ネットワーク）について検討を行っていく。
2	市バス運行が平成27年度に更新（3年毎）時期となるため、地域の実態にあった運行等について検討する。	6地区で運行している市バスの更新が平成27年度に実施されるため、各地区と運行方法等について協議を行いながら進めていく。
施策展開の方向性 (H26年度以降)		<ul style="list-style-type: none"> ・長野市公共交通ビジョンの策定及びビジョンに基づく各種施策の展開 ・千曲川新道活性化プランに基づき、線路敷の自転車道・遊歩道化と駅構内整備 ・北長野・三才駅間の新駅設置可否に向けた詳細な調査 ・鉄道駅のバリアフリー化に向けた鉄道事業者等との協議

【6. 施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 [事業区分] 担当課名	事務事業の状況									
		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
1	長野市公共交通活性化・再生協議会負担金 [補助金・金銭給付事業] 交通政策課	地域公共交通活性化・再生法に基づく「長野市公共交通活性化・再生協議会」が策定した「長野市地域公共交通総合連携計画」の事業実施に当たり、負担金を支出する。					・市バス、乗合タクシーへのICカード運用開始 ・ICカードチャージ機の増設				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	B	A	A	A	継続	281,070	318,640	132,022	40,606
2	路線バス維持活性化補助金 [補助金・金銭給付事業] 交通政策課	民間の交通事業者が廃止した路線バス等について、市が赤字損益分を補助し、代替バスを運行する。また将来廃止の危機にある路線の赤字損益分に対して補助を行い路線の存続を図る。					・廃止代替バス7路線の運行 ・一部補助3路線への支援 ・長野電鉄旧屋代線の廃止代替バスの運行				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	A	A	B	B	継続	48,871	80,474	94,508	117,986
3	市バス等運行事業 [サービス提供事業] 交通政策課	豊野、戸隠、鬼無里、大岡、信州新町及び中条の6地区において、合併前から旧町村が運行していた町村営バス及び福祉バスを合併により市が引き継いで運行する。					平成25年度の6地区における市バス利用者数96,449人				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	A	A	B	B	継続	131,045	142,188	126,541	159,991
4	コミュニティバス運行事業補助金 [補助金・金銭給付事業] 交通政策課	バス路線等がない交通空白地域及び地域内需要が多い地域において、コミュニティバス、乗合タクシーの運行を行う。					・地域循環バス6路線の運行 ・空白型乗合タクシー等8路線の運行				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	A	A	B	A	継続	28,418	121,846	45,818	55,527

		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
5	中山間地域輸送システム 運行費補助金	地区の運行組織が、タクシー事業者と契約し、デマンド方式のタクシーが集落内を運行し、バス路線に接続させる。赤字分を市が運行組織に補助金として交付する。					浅川、七二会、小田切、芋井、信更、篠ノ井信里の6地区で運行				
	[補助金・金銭給付事業]	事業の分析結果					年度別事業費(千円) (H26は予算額)				
	達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26	
	交通政策課	B	A	A	B	A	継続	19,003	18,348	18,376	18,892
6	鉄道軌道安全輸送設備等 整備事業補助金	鉄道事業者が実施する輸送の安全性の向上に資する設備整備等に対し、県及び沿線市町で協調して補助金の交付を行う。					しなの鉄道(株)、長野電鉄(株)が行った安全輸送設備の整備について補助を実施した。				
	[補助金・金銭給付事業]	事業の分析結果					年度別事業費(千円) (H26は予算額)				
	達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26	
	交通政策課	B	A	A	A	A	継続	5,386	8,660	46,068	28,601
7	新幹線対策	北陸新幹線長野県沿線広域市町村協議会をはじめ、沿線の県や市町村で構成する各種協議会等に参画し、建設促進に関する決議を行い、国等に対する要望活動などを実施する。					・平成25年度の要望活動 6回 ・地区対策委員会への補助 4地区				
	[補助金・金銭給付事業]	事業の分析結果					年度別事業費(千円) (H26は予算額)				
	達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26	
	交通政策課	B	A	A	A	A	継続	1,433	8,774	2,439	16,339
8	千曲川新道活性化	長野電鉄旧屋敷線の関連資産を、平成24年度に作成した「千曲川新道活性化プラン基本構想」に基づき、線路敷は自転車道・遊歩道として、また、一部駅舎や駅周辺用地は地域の一つの拠点として改良・整備を行う。					・綿内駅、信濃川田駅トイレ整備 ・松代駐車場整備 ・自転車道・遊歩道概略設計				
	[建設・改修整備事業]	事業の分析結果					年度別事業費(千円) (H26は予算額)				
	達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26	
	交通政策課	B	B	B	B	B	継続	/	/	58,949	252,409
9	長野以北並行在来線運行 対策	開業に必要な設備投資・開業準備に係る費用に対し、長野以北並行在来線対策協議会が作成した「経営基本計画」に基づき、県及び沿線市町で協調して事業者に対し補助金の交付を行う。					鉄道事業者及び沿線自治体が協議の上、計画を策定する中で補助を行っており、目標どおりの事業者に補助金の交付を行い、長野以北並行在来線の維持・存続、経営の安定化を図った。				
	[補助金・金銭給付事業]	事業の分析結果					年度別事業費(千円) (H26は予算額)				
	達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26	
	交通政策課	B	A	A	A	A	終了	/	8,312	33,110	140,439
10	長野市公共交通ビジョン 策定	長野市における公共交通の役割を踏まえ、その将来像を明らかにするとともに、将来像実現に向けた施策を体系的に整理し、計画的に展開するための指針となる「長野市公共交通ビジョン」を策定する。					公共交通ビジョン策定のため、公共交通ネットワーク最適化部会及び公共交通利用促進部会を設置し、議論を行った。				
	[内部管理的事業・その他]	事業の分析結果					年度別事業費(千円) (H26は予算額)				
	達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26	
	交通政策課	B	A	A	A	A	終了	/	/	7,250	7,320